

松 報

題字 故 井上知真元校長

42



水彩画「春雪」 24回卒 市川光男

埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞
鈴木宣彰 作曲

一、雲光る

仰ぎみる
若き我らが
ああ限りなく
ここ飯能の
友よいざ
励み鍛へん
三歳の秋を

碧き多峯主
眼差しさやか
生命燃えて
高鳴る胸よ
学びの庭に
師とともに

二、夕靄の

縫いめぐる
若き我らが
ああ流れゆく
ここ飯能の
友よいざ
尋ね捜さん
明日の道を

天地の間
人間の水に
思念浮かべ
星霜偲ぶ
学びの園に
師とともに

三、大空は

武蔵野に
若き我らが
ああ暁々と
ここ飯能の
友よいざ
謳い歩まん
青春の日を

暁のいろ
陽はまた昇る
哀歓揺れて
吹く朝風よ
学びの窓に
師とともに

昭和50年制定

事業運営の充実を目指して

20回卒 会長 本橋 憲一郎
(飯能市在住)



会員の皆様には、同窓会の事業運営にご協力を賜り、たいへん有り難く、心から御礼を申し上げます。

6月2日に開催いたしました定期総会におきまして、役員改選が行われ、引き続き会長職務を委ねさせていただきました。会員の皆様方のお力添えをいただき、役員一同一致協

一層生徒たちの応援事業を充実していきたいと考えています。また、同窓会が預かりしております周年事業積立金につきましても、100周年記念事業実行委員会との協議により、900万円を100周年記念事業の資金として活用し、残りの2万円余りを同窓会に帰属させることで協定を結び、両者の総会において了承をいただきましたので、6月末に会計処理してございます。そのほかに、100周年委員会に寄付をされた方々に同窓会会報誌「松楓」の定期購読をしていただくように同委員会と協議をいたしまして、その寄付金のうちから一人

1,000円を定期購読交付金として同窓会に交付していただくことになりました。これらにより、100周年委員会及び同窓会の双方が安定した基盤を築くことができました。これも偏に関係者の皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。

今年の会員視察研修は、横浜市三溪園や赤レンガ館などを視察する予定ですので、多くの会員の皆様方のご参加をお待ちしております。今後とも、会員相互の友好と親睦を深められるよう努力していきたいと思っておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

魅力ある飯能高校を目指して

校長 岩澤 正明



同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、動に御理解・御協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

また、ご案内のとおり、飯能高校は、2022年には、100周年の節目を迎えることとなっております。すでに木川一男会長、細田吉春副会長、町田知可雄副会長のもと100周年実

行委員会が組織され各部会を中心

にも重ねて感謝申し上げます。

私も校長として4年目を迎えました。3年という一つのサイクルが終わり、新たなスタートと考えています。この3年間、「復活」を合い言葉に全職員一丸

となつて学校づくりに努めてきました。徐々にではありますが、その成果が見えてきたかと思

っています。

懸案だった生徒募集も本校志

望者数が増加傾向となり、安定

した倍率を確保できるようになってきました。今後は、さらに魅力ある学校づくりに努め、量的にはもちろんですが質的な向上を目指していきたいと考えています。

昨年度から2年生で2クラスあるアドバンストクラスの1ク

ラスに4年制大学希望者を集め、授業内容や意識の向上を図れるような環境整備をしました。す

ぐに成果が現れるとは思いますが、御期待をいただければと思

います。

昨年度の進路結果では、一般

受検で久しぶりに埼玉大学、高

崎経済大学といった国公立大学

や早稲田大学、明治大学、学習

院大学などの難関大学合格者を

出すことができました。同窓生の皆様から見るとまだまだ寂しい状況かと思いますが、入学時の生徒の学力を考えるとかなり頑張ったと言えると思います。

さらに、本校では、「1年生の英語検定全員受検」を実施して

おりますが、昨年度、初めて1

年生で1級合格者を出すことが

できました。今後も生徒が高い志を抱き希望する進路や上位級に数多く合格できることを期待したいと思

います。

部活動では、昨年度、ホッケー

一部、陸上競技部、弓道部の3

つの部が全国大会へ出場するこ

とができました。本年度もホッケー

部活動も着実に力をつけてきており学校にも元気が戻ってきた気がします。

さて、県では、県立高校の再

編整備が計画されています。本

校も、少なからず影響は出てく

ると思われまので、伝統に胡

座をかくことなく、地域の期待

に応えられる信頼される飯能高

校づくりに努めていく所存であ

りますので、今後とも母校の充

実・発展のために引き続き御協

力いただきますことを切に願

い申し上げます。

寄稿

恩師の国語



高女14回卒
草木 和子
(練馬区在住)

飯能高等女学校を卒業して70年以上経過しました。戦争中の学生生活をしみじみ振り返る時、今の生活とは大変異なると思います。

現在は何でもあり、お金があれば何でも手に入る社会ですが、私達の学生時代は、「ほしがりません勝つまでは」と言う合言葉もあり、すべてのものに不自由な時代でした。英語は敵国語という事で授業は中止となり、勤労奉仕や体育の時間には、なぎなたや担架の訓練、けがした時のきずの手当等、看護婦さんの様な仕事を習いました。そんな訳で勉強はあまり落ちて出来ないう状態でしたが、私の心にもなつかしく思い出させる国語の時間があります。井上知真先生に国語を教えていただきました。また校長先生になられる前で、戦争中でも国語の授業の時は、戦争とは関係なく古典の授業で一つの場面の描写をくり返しくり返していねいに説明してくださいました。太平記の道行文と思うのです。

が、「由良の港を見渡せば、沖こぐ舟の舵をたへ、浦の浜ゆう幾重とも、しらぬ波路に無く千鳥：」掛け語や縁語等幾度もくり返し説明してくださるので、1ページ位の文章をすつかりおぼえてしまいました。その結果、奥の細道、自然と人生、詩集では北原白秋、鳥崎藤村等に興味を持つようになりました。藤村の千曲川旅情の詩は今でも強く心に残っておりまして。井上先生有り難うございました。

私は最近デイサービスに週1回行っております。友達で女学校時代の話の合う人を見つけると大変嬉しくなります。長時間話していても話の種はつきません。90年も生けると、良い事も悪い事も体験して、人生をふり返る時、元気で毎日をくらす事の出来る事を有り難く感じます。先日弟夫婦と4人で石川県の金沢へ遊びに行きました。兼六園の徽軒灯籠や金沢城、近江町市場、ひがし茶屋街等、老人なので無理の無い程度に見て無事に帰ってきました。階段の上下や、車の乗り降り等、何となく気を使ってくれた弟夫婦に兄弟は有り難いと思いました。デイサービスでは、お花お習字ちぎり画教室の他に、きめこみパッチワークを習っています。パッチワークは力のある仕事なので、首すじや、指先がつってしまい、休み休みやりますが、出来上った時は嬉しくな

り、友達にお世辞にほめられるとますます嬉しくなります。しばらくの間、パッチワークは続けたいと思っております。

主人が亡くなり20年過ぎました。私も6年前に胃がんになり胃を全部切り取ったので食事がうまく出来ませんでした。最近はずっと歩き出したひ孫の成長で、松楓を編集してくださる皆様、大変な御苦労があると思いますが、健康に留意されて、母校のために、活躍される事を願っています。

今の楽しみは、庭の手入れや、やとと歩き出したひ孫の成長です。松楓を編集してくださる皆様、大変な御苦労があると思いますが、健康に留意されて、母校のために、活躍される事を願っています。

私達5回卒業生は、昭和25年入学です。ちょうど戦前戦後の学校に改革のあった年代です。小学校に昭昭和16年戦機高揚のため国民学校と名前が改められ「国民学校一年生」という歌と共に最初の1年生入学でした。この年の12月8日太平洋戦争が始まり敗戦が5年生。6年を卒業した年、学制改革で、六三三制となり義務教育が中学までとなりました。その新制

中学最初の入学生が私達です。文部省から「新しい憲法のはなし」という本が配られ、新憲法について学びました。特に3つの大切な事として①国民主権②平和主義③基本的人権と教えられました。明治憲法と違う点として新鮮な気持ちで学習したことが印象的でした。特に戦争放棄のことについては、もう戦争がないんだと、至極安心したものです。空襲に怯えた日々、とことん物資がなくなり、人間が砲弾の代わり(特攻隊)になったことなど、今では考えられない事でした。

つれづれなるままに



5回卒
長橋 久枝
(秩父市在住)

高校も新制高校最初の1年生です。小中高とも新しい変わりめに遭遇し、新しい時代を生きるような、ある種の誇りの様な気持ちがありました。校区も小学区制、近隣の中学からの仲間でした。男女でフォークダンスをしたことも指先だけ触れてつないだ振りをしたりこそばゆい思い出です。1年の時の運動会で1年から3年までの女子全員でマスキームの様なダンスをしたのも想い浮かびます。「美しき蒼きドナウ」の曲に合わせ、大きな輪になったり幾つもの小さな輪を作ったり、升になったり渦巻きにと、早足、ゆっくり等、校庭いっぱい練り広げられた様子は、さぞや見事だったろうと、今の様に映像で残されなかったのは残念です。

世の進歩と共に、ともすると、人とのつながりが疎かになりかねない。昨今、同窓会報の発行が続けられて、(広い年代の方の様子)が出来る。その労を担ってくださっている役員の方々に感謝申し上げます。



おしゃれな帽子がお似合いの『ハットマン』こと

新井 規矩雄プロへのインタビュー

14回卒 新井 規矩雄（飯能市在住）



Q 飯能高校のときは、どのよう
に過ごしてらしたのですか。

新井プロ 飯能高校へ通って
いた当時は、飯能市内の南川の
自宅から吾野駅までバスで行き、
そこから電車で飯能まで通って
いました。入学した当時、陸上
部に入部しましたが、短い期間
で止めてしまいましたので、そ
の後は帰宅部になってしまいま
した。（笑）

Q 大学時代にゴルフを始めら
れたと伺いましたが

新井プロ 東洋大学の法学部法
律学科に入学したので、初めは
弁護士になろうかなと思ってい
たのですが、話をするのがあま
り得意ではなかったため、スポ
ーツでもしようかなと思ってい
たときに、ゴルフ部の方から誘
われてすぐに入ってしまったの
です。

Q その後、大学時代にメキメ
キと腕を上げられたのですか。

新井プロ 大学3年の時、天
覧山下にゴルフ練習場ができて、
知人が経営されていたものです
から、うちに来ないかと誘われ
て、アルバイトがてら住み込み
で練習していました。大学での
勉強も余裕ができてきましたし、
日中ゴルフの練習に来る人も少

なかつたものだから、毎日朝
から夕方まで1日8時間打ち込
んでいました。

Q プロになろうと思つたきつ
かけは？

新井プロ 大学4年の時、就
職を決める時期になって考えて、
このままゴルフをやめたくない
なあと思ひ、いっそプロになっ
てゴルフを続けたいと思つたこ
とがきっかけです。

Q プロになられたのは、いつ
頃でしたのですか。

新井プロ 大学を卒業した年の
9月にプロテストを受けて1回
で合格してしまいました。とい
うのも、プロゴルファーになる
のは父が反対でした。何回も説
得したのですが許してくれなかつたので、1回だけ受けさせて
ほしいと言つて受けたものでは
すから

Q そんな短期間でプロになら
れたのですか。

新井プロ 大学3年の時に日高
ゴルフのメンバーになりました
ので、大学卒業後、自転車で日
高ゴルフに通い、プロと一緒に
コースを回っていました。そこ
から、天覧山下のゴルフ練習場
に行き、また、打ち込んでいま

した。プロテストを受けるまで
の半年間、それがずっと続きま
した。上手な人と一緒にゴルフ
をしたことがよかつたように思
います。

Q 当時は、プロになられた方
は、少なかつたのでしょうか。

新井プロ ゴルフをしていた
人が少なかつた時代ですし、小
さい頃からゴルフをしていた人
は殆どいませんでした。ゴルフ
をしていた人もプロになる人は
もちろん少なかつたですし、プ
ロといつても殆どがゴルフ場の
仕事をしていました。ですから、
大学を出てトーナメントプロに
なつたのは、僕が初めてだつた
と思います。

Q プロになられた当初からト
ーナメントに出場されていたの
ですか。

新井プロ そうです。当時は、
トーナメントといつても、年間
5試合しかなかつたのですから

Q 年間5試合ですと、それで
生計を立てていくのは難しいで
すねえ。

新井プロ そういう時代でし
た。僕が25歳のとき、ジャンボ
尾崎さんが出てきて、青木さん
や杉原さんが一緒にやるように

なつてから、試合数も増えてき
ました。その後、ゴルフ人気も
出てきて、愛好者も増えてきま
した。

Q プロで活躍されるようにな
り、最初に優勝されたのは？

新井プロ 1972年に東海ク
ラシックで優勝しました。その
前に、プロテストに合格してか
ら2年目に関東プロと日本オー
プンで2位になりました。関東
プロの優勝賞金は、当時50万円
で、2位になって23万5千円
ただきました。日本オーブンの
優勝賞金が70万円でしたから2
位ですとその半分の35万円でし
た。ですから、今とはだいぶ違
いますね。

Q 通算ですと、何回優勝され
ているのですか。

新井プロ 19回優勝していま
す。

Q その中でも一番思い出に残
つていますのは？

新井プロ それは何といつても
最初の優勝ですね。

Q 新井プロといいますが、何
といつても*アルバトロスを3回
も出されていますね。男子プロ
多しといえども、3回のアルバ

* アルバトロス そのホールのパー（基準の打数）よりも3打少ないスコアを出すこと

トロスは、新井プロだけではな
いのでしょうか。

新井プロ 最初のアルバトロス
は、1973年の日本オープン
で、次は1988年に三菱ギヤ
ランと新潟オープンで同一年
2回出ています。これは、僕
だけです。3回ともパー5のロ
ングホールですが、飛ばないと
出ませんし、運も味方しないと
なかなか出ませんね。

Q いやいや、運というよりも、
神がかっていますよ。(笑)

新井プロ 最初に出したとき
は、子どもが生まれる前の日
でした。一生忘れません。(笑)

Q 賞金ランキング上位が何年
か続いたことがございましたね。

新井プロ 1982年から84年

までの3年間4位でした。今の
人たちは違って始めたのが遅
かったですから、40歳前後の頃
は充実していましたね。全英オ
ープンに3年連続で出場しまし
たし、アメリカペブルリーチ大
会で2位に入りましたからね。

Q そうそう、アメリカのツア
ーにも参加されてましたね。

新井プロ こちらは冬寒いも
のですから、結婚した当時から
冬はアメリカに渡ってツアーに
参加していました。飛行機やホ
テルの手配なども自分でしなけ
ればならないので、数か月にわ
たってアメリカツアーに参戦し
ていたのは、僕だけでしたね。
そうした手配は、すべて女房が
してくれていましたからできた
ようなものです。女房がいなか

ったら、行きませんでしたよ。
Q 国内のツアーも奥様とご一
緒でしたのですか。

新井プロ 結婚してから国内ツ
アーもずっと一緒でした。

Q 仲が良くていらつしやるの
ですね。

新井プロ 女房がいなくて何も
できないものだから(笑)。プ
ロというのは、心の休まること
ろがないので、女房がいつもそ
ばにいてくれたものですから、
だいぶ違いましたね。

Q レギュラーツアーでプレー
をされていらしたのは、いつ頃
まででしたか。

新井プロ 生涯獲得賞金が3億
円に達したとき54歳までのシー
ド権を得ましたので、そのとき
までは、レギュラーツアーでプ
レーをしていました。その後、
2年間はアメリカシニアツアー
に参加していました。

Q その年代でアメリカシニア
ツアーに参加されたのは、新井
プロだけではないでしょうか。

新井プロ そうですね。私だけ
です。アメリカにも友達がい
て、とても気さくな人たちが楽し
かったです。

Q その後、日本に戻
ってこられて、日本の
シニアツアーでプレー
されていらしたのです
ね。

新井プロ そうです。
60歳になった頃から
は、テレビ放送の解説
をしたり、悠々自適に
やっていました。

Q 現在は、日高ゴル
フでお仕事をなさって
いらつしやるのです
か。

新井プロ 日高ゴル
フの顧問をしているも
のですから、お客様に
レッスンなどをしたり
しています。ゴルフ場
の改造をする仕事も
しています。8か所の
コースの改造の設計を
手がけました。そのほ
かに、日高ゴルフのク
ラブチームの監督をし
ていて、近々女子
チームがクラブチーム
対抗戦に参加しますの
で、一緒に行ってきま
す。今は、いろいろな
ことをやっていますの
で、毎日楽しく過ご
しています。



石川 遼プロが中3の時のレッスン

5月28日に新井プロの自宅にお伺い
し、インタビューをした模様を掲載
いたしました。新井プロの自宅の1
階には、ゴルフ練習場が備えられて
おりました。奥様は小唄のお師匠さ
んをなさっていらつしやいまして、
2階の和室には、その舞台が設けて
ございました。厳しいプロゴルフ界
の中で奥様と二人三脚でやってこら
れた新井プロの奥様への感謝の気持
ちと思いを感ぜました。奥様と
お二人で幸せな日々を過ごされてい
ることを実感いたしました。 K・M

先輩・後輩

母校との縁



9 回卒
面川 彰子
(飯能市在住)

飯能に生まれ育ち現在も同じ所に居住しています。飯能高校は徒歩5分、日常の生活の中で常に視野に入っています。前を通る折には校舎に目をやり、垂れ幕があれば必ず読み、運動や英検等に頑張っている後輩に思いを馳せて嬉しく誇らしく思ったりしています。

姉も卒業した学校であり、何より近いという理由から迷う事もなく入学させて頂き、3年間、工藤貞夫先生に担任して頂きました。小・中学校からの顔見知りの友も多く、あまり緊張感もなく過ごし、時間があればひたすら読書の高校生活でした。

今にして幸せに思いますのは良き友に恵まれた事。何人かの方とは国内外の旅を共にし、今も音楽会に、美術展にと一緒に出来る幸せ。イタリア、トルコ、スペイン、ポルトガル、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、ロシア、バルト三国等、文学や芸術を通して長い間憧れていた国々を旅する事も出来ました。楽しく語

らいながら旅する私達を見て、「どういうお仲間ですか」とツアーの同行者から問われる事も多く、「高校の同級生です」と答えて羨まれました。高校時代までは弱羽で旅も苦手だった私が、と自分でも驚きです。

私たちの学年は4クラス中、1組と2組だけが男女一組のクラスでしたが、これは飯能高校史上初の事だったと思います。47名中、男生徒は19名でまだ少数派でした。在学中はあまり交流はありませんでしたが(少なくとも私は)卒業後のクラス会を通して親しくさせて頂き、学ぶ事も多くて幸せな事でした。

同級生の有難さは何歳になってもお会いすればたちまち若やいだ気持ちになれる事。年齢を重ね、老いや病の厳しい現実もありますが「会えるうちにまたお会いしましょう」との約束が生きる喜びとも糧ともなっており感謝です。

今在ることに感謝して



14 回卒
大山 久子
(人間市在住)

2022年には、創立100周年を迎える飯能高等学校。私たちの学年も今年は、後期高齢者となり、卒業から相当長い年月が流れました。1年1組は上加先生が担

任で、運動の苦手な私は、食物クラブに入部、部長をしていた加藤さんは、美人でやさしくて、ステキな女性でわたくしの憧れの先輩でした。その憧れの先輩たち3年生を送る会には、クラスの女子5人で「古城」を踊ったのを思い出します。「松風騒ぐ丘の上」自分たちで振り付けをし、まとまる迄は大変苦労しましたが楽しい時間を過ごしたと思

っています。2〜3年は6組へ編入し、進学クラスだったので皆、猛勉強。その頃担任の田中先生の言葉に「生懸命に勉強した後は、5分間の休憩の中、外の景色や草花に感動するものだ」と。私たちのクラス会は3年ごとに開催し、3年6組だったことで36(サブロク)会と名づけました。しばらく逢っていない人でもすぐに高校時代に戻れることが出来、話が弾みます。楽しい時間はあつという間に過ぎて、又逢うことを約束し、36会が末永く続くことを願っています。私も平成元年に民生・児童委員を拝命し、30年間平成とともに活動してきて、以前PTAの役員活動や狭山警察署の少年指導員の経験から、自然体で民生・児童委員として取り組むことが出来る現在に至っています。昨年は、民生・児童委員創立100年を迎えて、全国大会へ代表として参列、天皇・皇后両陛下をお迎えしての大会は大変緊張し、手荷物の検査から、飲み物もままならず、直立不動

でお迎えし、国歌斉唱した時には胸が熱くなり、感動し涙がこぼれたことを覚えています。私も民生・児童委員の活動を続けていく中で、大勢の先輩、後輩、仲間たちに恵まれ、私の大切な財産となっています。また、高齢者のお宅を訪問する中で、私の方が元気をもらい、貴重な人生勉強をさせて頂いたばかりで、感謝でいっぱいです。

私と青森県



19 回卒
青木 正義
(飯能市在住)

素質の無い私の夢のインターハイは昭和41年、青森県で開催された第19回大会でした。この年の夏は冷夏でTシャツでは寒いくらいでした。

私の出場した400mリレーは予選落ちの悔しい結果に終わりました。しかし、私にはこの青森県には沢山の思い出があります。修学旅行では飯能高校で初めての東北地方でした。福島からバスを乗り継いで十和田湖までの旅でした。初めて見た十和田湖の美しさは今でも強く印象に残っています。昭和53年に新電元の監督になってからは青森〜東京間駅伝には埼玉県チームのスタッフとして出場し、青森県の多くの人達と現在も親交を深めてい

ます。大会最終日の前夜、宇都宮市内の宿舎に元・校長の中村由蔵先生(当時・埼玉県体育協会・専務理事)が埼玉県チームの激励に来られ、青木君も飯能高校の卒業生だから指導者として頑張れと握手をしてくれ感激しました。又、真夏に十和田湖をスタートする十和田八幡平駅伝全国大会にも出場。選手勧誘では青森県立三戸高校から無名名の寺牛浩之君を採用。入社後大きく成長し、1500mで埼玉県新記録を樹立し、末だに破られていません。

歳月が流れ、その寺牛君の次女・若菜さんが飯能高校に入学。現在の顧問・高橋修平先生の指導の下で長距離選手として活躍、現在は石巻専修大学で活躍しています。私は現在、埼玉陸協、実業団連盟に携わっていますが、岩澤正明校長先生が埼玉県庁に勤務されていた20年以上前に初めてお会いし、それ以来大変お世話になっていきます。現在は埼玉県高等学校体育連盟・陸上競技委員長として活躍されています。OBでは毎年元旦、前橋で開催されますニューイヤーズでシドニークン(旭化成)に会うのが楽しみの一つです。私は役職上、多くの方々を支えられています。地元では柏崎勝三さん、鎌田保則さん、山影祥子さん、大矢時雄さん、高木修さん、双木広治さん、横手康雄さん、山川

紀子さんから飯能高陸上部OBの皆様には大変ご協力を頂いています。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

故郷の飯能



24回卒
渡辺 晴雄
(世田谷区在住)

飯能を離れてかれこれ35年。仕事柄深夜になることが多く便利な都内に住んでいます。

社会に出た70年代には「働き方改革」なんていう言葉がなく、好きな仕事をして給料がもらえる嬉しさで、寝る間を惜しんで働いていました。企画から携わる映像制作の仕事はテレビから流れ世間を騒がせた。この達成感が病みつきになり家庭を顧みない、仕事バカになりまわっていました。その代償に子育てで溜まっていた不満を妻が爆発させた。このころの仕事観は…バブル期までの昭和の典型でした。実家の飯能には年に1回、盆暮れどっちか帰ったかな？仕事にかまけて故郷に不義理な生活を送っていました。帰郷して感じたことは、景色もそうですが街の匂いと音がなくなっています。高校生の頃までは、機屋と製材所があつて機織りの音と原木を加工するノコギリの音、周りに木材

の香りが漂っていました。そこには地元産業を生業とした街と人々の喧嘩がありました。今は飯能駅北口の通り、そして銀座通りの様相も一変してシャッターで閉ざされた歯抜けの商店街に、なんともいえない寂しさを感じています。そんな中でも変わらないものが…『古久や』です。屋号が入った木の看板とすりガラスの引き戸、ガラガラつと開けると広い座敷、右手と奥には湯気が立ちこめる調理場と、殆ど変わらない佇まい。飯能のソウルフードの肉つゆうどん、懐かしい思いが蘇ってきます。この辺りの方言は「なにを「あに」と訛って頭にアクセントをつけている。面白いことに、渡仏して四半世紀も経った友だちが、故郷からどんなに離れても、育った処に戻ったかの如くこの方言を使つて自然に話していました。それは生まれた川の味、匂いを覚えている鮭の母川回帰のようなものでしょうか？ここには山からの美味しい空気と水がいつぱいあります。街を支えたかつての匂いと音が姿を変えて、次はどんな色と容になるのでしょうか？景色が変わっても、いつもあなたたかく迎えてくれる故郷が心地よいです。

人と人とのつながりを大切に



29回卒
大澤 正欣
(飯能市在住)

昭和34年3月、柳町で今年創業90周年になる洋服店の三代目として生まれました。

飯能第一小学校を、卒業し、第一中学校2年の頃、父から「地元で商売をするには、飯能高校に進んだほうが良い」との助言がありました。

小さい時から細かい手作業が好きだった私は将来、家を継ぐんだろかなと思つてはいましたが、進学のことまで言われるとは、少々疑問がありました。

飯能高校に入学すると、小学校からやっていた剣道部に入部し朝放課後の稽古、夜には藤巻道場にも通い、3年の部長の時、念願の三段にも合格しました。先輩後輩に恵まれ、高校3年間は本当に楽しく過ごしました。

卒業後は洋服の専門学校から、銀座の壹番館洋服店で修業の後、家業を継ぎました。

商売の傍ら、飯能消防団に入団しました。団では飯能高校出身の小久保勝弘氏、柿沼敏夫氏、両団長の副団長として、地元の安心と安全のため務めさせていただきました。

囃子連でも、柳原囃子保存会会長の後、現在飯能市郷土芸能保存会の副会長として、郷土の芸能の保存、伝承に努めております。

人生のその都度、飯能高校の出身者にお世話になっており、若くして逝つた母の「情けは人の為ならず」を心に、人と人とのつながりを大切にしたいと思つました。これが、地元の高校に行けと言つた父の考えなのかと、この原稿を書きながら思い返しています。もちろんその事は商売にも役立つと思います。

この度の松楓への依頼も、当飯能高校同窓会の副会長で、一中のPTA会長の時の前任者である都築敏夫氏からのものであり、これも飯能高校又飯能での生活の賜物であると思つました。これからも、飯能に生まれたことに感謝して、地元ネットワークを大切に、母校を微力ではありますが「応援していきたい」と、改めて感じたいです。

高校時代の部活動



34回卒
横手 伸行
(飯能市在住)

最近の10代の活躍は目覚ましい。将棋では、14歳で史上最年少少プロ棋士となった藤井聡太4段がデビュー

1から29連勝し、すでに6段。ただ、飯能高校時代、私は卓球部に所属していた関係もあり、卓球に注目している。

卓球では中学生の張本智和が世界選手権男子シングルスで準々決勝に進んだ。また、女子もシングルスで48年ぶりの銅メダル、アジア選手権優勝を手にした平野美宇も、女子ダブルス銅メダルの伊藤美誠、早田ひなも共に高校生。高校時代、世界で戦うこのアスリート達と自分の高校時代を比べること自体論外であるが、経験者としてこの世代が「卓球」をメジャーな競技へと盛り上げてくれていることにはとても嬉しい気持ちになる。

伝統ある飯能高校卓球部OBには、元県議会議員、飯能市の市議会議長、議員など過去から現在まで政治の世界で活躍されている方が大勢おられる。

卓球という競技は他の競技に比べると、特に、「メンタル面」が強くないと試合で勝てないとOBの方々から常々教えて頂いた記憶がある。実際、技術的な面よりもメンタル面が試合の結果を大きく左右する。直近のスウェーデンでの世界卓球2018団体戦をテレビ観戦していたが、女子の対韓国・北朝鮮合同チーム(コア)との歴史的な対戦で日本の女子のエースである石川佳純選手と北朝鮮のキム・ソニ選手との対戦は見た覚えが十分であった。



両者譲らず、第5セットまでもつれ、さらにデュースでもつれた。この試合なんと、キム選手の打球が何度もエッジボールとなり、その度に窮地に追い込まれた石川選手だったが、その度に窮地から抜け出し、16対14で勝利した姿は精神力の強さが勝利に繋がった良い例ではないか。

卓球部OBの多くの政治を志した先輩方も、卓球で培った強い精神力や、手を変え品を変えて相手を追い込む時の考える力が、いろいろな場面で発揮されていることと思う。

私が卓球をやっていた頃、某TV局のお昼の番組「笑って○○○○」で国民的司会者であるTさんが「卓球は暗い」と放送してから、卓球人口が減り、益々暗いイメージが先行してしまつた時期であつたが、「なにくそ」と奮起された方々が、それまで緑色しかなかった卓球台を青色にしたり、ユニフォームもカラフルなものに変えたりと努力され、この事を逆手に取って頑張られたと聞いた。打倒中国を掲げ、どうすれば勝てるかの問いに立ち向かった日本卓球界の方々の考え方や、環境作りが結果を出し始めたためだろう。

全国から小学生のエリートを親帯同で集め、エリートアカデミーを設立、ここから次々に現在の卓球界をリードできる人材が育っている。男子の張本選手の妹もすでに国際レベルに達していると聞く。

この競技は、体力ももちろんだ

が、現在の若い世代全般に不足している「強靱な精神力」を身につけるのにつけての競技であると確信している。また、幅広い世代で楽しめ、たとえ小学生であっても高校生を圧倒する様な選手もいる独特の競技でもある。私自身、ラケットを握らなくなつて久しいが、試合観戦は大好きで、未だに時間があればTVを占領して見ている。少ない経験値ながら、「このポイントが勝負だな」「ここで取られるとまげちゃうな」などと独り言を言いながら毎回楽しみに見ている。これは誠に勝手な望みだが、いつの日か母校出身の国際レベルの選手が活躍する日は是非見てみたい。その際はきっとその選手の追っかけをしていると思う。頑張れ！ 飯高卓球部！

懐かしい思い出



39回卒
秋葉 光弘
(飯能市在住)

飯高時代の仲間から電話があり、ゴルフの誘いかと思つて喜んだのも東の間：

「頼みがあるんだけど」とのこと。この会報の投稿依頼でした。私は恥ずかしながらこのような会報があることを知らず、卒業して32年一度も読んだことがありませんでした。

しかし、これも何かのご縁かなあと思い承諾しました。早速その友人と一杯やりながら思い出話や近況報告をし、過去の会報を拜見しました。先輩後輩たちの沢山の投稿があることを知り、それぞれの思い出に自らの思い出を重ねつつ、楽しく読ませていただきました。

私は飯能で生まれ育ち現在も飯能に暮らしています。高校時代を振り返ると、一番には野球漬けだった毎日が思い出されます。野球部に入部してからというものの、厳しい練習に疲れ果て食事も喉を通らないほどの毎日でした。1年生の始め40人近くいた同級生の部員が、3年生の頃には十数人に減り私も何度も辞めようと思いましたが、それでも3年間やり遂げることができたのは仲間の助けや、共に頑張っているという心強さがあつたからです。辛さも楽しさも含めた濃い時間を共に過ごしただけあり、今でも会えば昔に戻つたように話せる友人たちに出会えた3年という時間は財産です。そして恩師である野球部顧問だった石田先生や、体育科レスリング部の平沼先生とは現在でも親交があり、若い時から知ってもらっている安心感と共に、今でも沢山の支えとなつてくれています。

現在は6代続く家業の石材業に従事しております。大切な瞬間に立ち会わせていただけれる仕事をさせてもらっていることに誇りと自信

を持ち、丈夫な体で生涯現役をモットーに、飯能の街に人々に、微力でも喜んでいただけるよう頑張っています。

余談ですが、飯高生ならきつと多くの人と共感できるであろう「青春の味」として、丸十のパンや桜文堂のチェリオは今でも時々恋しくなります。これからも飯能高校卒業生及び在校生の皆様の活躍を見守り応援しています。

飯高を卒業して想う事



44回卒
小林 和也
(飯能市在住)

になりました事が残念でなりません。ご冥福をお祈り申し上げます。卒業後、群馬県内の企業に勤務し、29歳の時、地元飯能に戻り、地元企業に就職致しました。今思い返すと、高校卒業時に就職した時も、現在勤務している会社に就職した時も、飯能高校の先輩が導いて下さいました。そして更に仕事をしていくと、飯能高校の先輩や後輩など沢山の方々にお世話になつていく事を改めて実感致します。特に野球部の先輩方には公私にわたる御指導をいただき感謝申し上げます。

飯能高校を卒業して20数年が経つた今、この様なご縁をいただき少し振り返ってみました。平成元年4月に入學し、野球部へ入部。入學当初は諸先輩方の練習を見て、自分もこの中でやっていたのかと大変心配になった事を記憶しています。また川越工業高校より転任された野口静男先生、石田浩先生の御指導をいただきました。強豪校との練習試合や合宿なども経験し、公式戦では結果を残す事は出来ませんでしたが大変お世話になりました。その野口先生が平成29年12月にお亡くなり

打ち込んだ3年間



49回卒
相田 政康
(飯能市在住)

地元飯能を離れて、また飯能で生活してみると、飯能高校の伝統と、飯能高校同窓生の方々の温かさを感じます。飯高を卒業して、地元飯能の良さ、飯高の良さを沢山の方々に知っていただきたいと思えます。また飯能高校が100周年を迎えるに当たり、実行委員として微力ながらお手伝いしていこうと思えます。在校生の皆さんが飯高での高校生活が思い出深いものになります事と、飯能高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

が大切な思い出です。特に野口静男先生には、引退後の進路の事では大変お世話になりました。その野口先生が平成29年12月にお亡くなり

平成7年の春、私は飯能高校に入学しました。中学校時代に始めたテニスに夢中になり、もっと強くなり、高校生活も地元飯能で生まれ育ち、飯能高校を選ばない理由から飯能高校を選びました。当時は、勉強はほとんどに、朝夕の部活動に明け暮れていたことを思い出します。硬式テニスは県内西部地区内でも強豪ではありませんでした。コートも石だらけの荒れた状態で練習の間に整備に力を入れていたのですが、仲間達と一緒に協力して活動しました。何事も準備が大切であることをこの時に学んだと思います。

学校生活では、文化祭や体育祭などイベントごとにクラスが団結していた印象があり、充実した日々だったと思います。この時間を過ごすことができたのは、何と言っても仲間がいたからです。苦しい練習や試合に勝つ喜びを共に努力してきた仲間と分かち合うことができたのは、私の財産だと思っています。思い出の一つに、県大会出場があります。と言っても、出場したのは私ではありません。いつも、夕方ボールが見えなくなるまで練習し合った仲間が出場しました。惜しくも1回戦敗退ではありましたが、一からチームを作り上げた部員達に監督から素晴らしい3年間をありがとうと言葉をかけていただいた瞬間が青春の一ページだったのだと今でも懐かしく思います。やってきたことに自信を持った良い思い出です。

高校時代の3年間はとても短いものでありますが、卒業後に社会人となってから飯高出身の方が周りにこんなに多いのかと驚きます。飯能高校の歴史を感じ、後輩へ繋ぐ役割があるかなとも思います。創立100周年が近づいてきています。私は縁あって、記念誌を作成する部会で活動させていただいています。素晴らしい記念誌ができるように恩返しのため取り組んでいきたいと思っています。

貴重な3年間



54回卒
白井 輝海
(飯能市在住)

タイムマシーンが使えるなら、高校時代に戻って、ホッケーがしたいです。毎日、仲間と楽しくホッケーをして過ごした日々がとても恋しくなります。

ホッケー部に入学して、練習で技術が上がり、やれば出来る様になる自信を知り、厳しくもカッコいい先輩方には、規律を学び、地元遠征では、宿に泊まり皆で過ごす事で、仲間意識の高まりを感じました。そして、頑張ったご褒美の観光もあつたりと旅行気分になれました。

何より、チームで戦い勝つ一体感、団体競技の醍醐味でした。当時の仲間と集えば、今でも鮮明に心が踊る出来事ばかりです。

戻りたい気持ちの中に、未熟な自分への後悔もあります。部長を務めさせていただき、練習メニューを決めていました。しかし、試合を想定した内容を考えられていたのだろうか。もつと探究心があれば、きっと勝利の数が増えていたのではないか。

卒業して、ホッケーから離れ気づきました。理解して実行しなかったと、当時に戻りたい気持ちになります。ですが、叶う訳もなく、あの後悔があるからこそ、今を未来で後悔しない様に務めようと思います。

高校時代の部活は、一つひとつが私の経験値を上げてくれました。貴重な3年間です。

現在は、母になり小さな部員2名の部長です。子育てという毎日のメニューを将来という試合に向けて、探究心を持ち楽しく奮闘しています。

懐かしい思い出



59回卒
栗島 麻子
(飯能市在住)

今年30歳を迎える節目の年となりました。高校生活を振り返れば、部活動の思い出が今でも鮮明に記憶に残っております。私はホッケー部に所属し、1年中真っ黒に日焼けをし、身体中にアザを作った汗をかいた3年間でした。

私が入学した平成16年度は、国民体育大会が埼玉県で開催される年。多くの競技がある中、ホッケー競技は地元飯能市で開催される競技でした。私は、入学するとすぐにホッケー部に入学をしました。当時、部員数は11人制のチームが2チーム作れる程、多くの部員がいました。同級生も多く入り、毎日の練習は厳しくも楽しいものでした。毎週土日には、全国各地から強豪校が練習試合に訪れて、春に入学したばかりの私は圧倒され、試合についていくのがやっとのこと、全国のレベルの高さに驚く日々でした。試合に勝つ喜びも負けて悔しい思いもしました。どうしたら勝てるようになるのか、試合が終わるとチームでミーティングをしたり、足りないと思う技術練習をしたりと、秋の大会に向けて練習した日々を昨日のこの様に覚えていてます。

の緊張感は今でも鮮明に蘇り、当時の思い出を思い出します。結果は悔しくも初戦敗退。たくさんの方々の協力があり、本戦を迎える事ができたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

私がホッケー部に所属していた3年間、全国大会に出場できたのは2回でした。今や全国大会の常連校となっている飯能高校ホッケー部。毎年のように高校には、「全国大会出場」と垂れ幕が張られ、在校生の活躍を嬉しく思います。飯能高校を卒業後、現在30歳を目前に控えた今でも、HFC-HANNONというクラブチームに所属し、ホッケーに関わることができています。現役の飯能高校生と練習試合をさせていただく機会もあり、在校生の頑張りを間近で感じ、パワーを頂くばかりです。私は高校生活で部活動を通し多くの出会いがありました。何年経っても会えば変わらない仲間、優しく、時には厳しく指導していただいた恩師、とても感謝しています。在校生の皆さまも、飯能高校での3年間を大切に充実した高校生活を送って頂きたいと思っています。

最後になりますが、今後、皆さまの益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。



飯能高校を卒業して10年が経

たくさんの出会い



64回卒
馬場さおり
(飯能市在住)

私の高校生活を思い返すと、「ホッケーと英語」の二つがほとんどを占めていたと思います。

小学校時代から始めたホッケーを続けたいと思い、飯能高校への入学を決めました。私たちの入学と同時にホッケー部の顧問の先生が代わり、新しい体制でのスタートでした。最初は仲間と喧嘩をしたり、勝つことができないことに自信を失ったりと何度も心が折れそうになっていました。それでも先生方は私たちに寄り添い、丁寧に練習を見てくださっていました。そして高校3年生のインターハイでは1回戦をギリギリで勝ち進み、2回戦に進出。2回戦も1点差で勝ちベスト8。ベスト4を決める試合では勝ち切る事ができず負けてしまいました。しかし試合中に先生方、保護者の方々、仲間たちからの声援が聞こえ、勝ったときには飛び上がって喜んでくれた光景は今でも忘れられません。

そしてもう一つ、高校時代に私の人生を大きく変えたことは、尊敬できる先生との出会いです。高校に入って、苦手だった英語の朝補習に参

加するようになりました。その先生の説明はとてもわかりやすく、私

がそれまで曖昧にしか理解できていなかったことが一つひとつ整理されていきました。この朝補習やその先生の授業を経て、英語が楽しいと感じることができ、もっと勉強したいと思うようになりました。今、私は英語の教員として働いています。このきっかけとなった先生には今でも本当に感謝しています。

現在、教員として働くなかで、高校時代の良い思い出や経験が指導の基盤となつていきます。そんな私の人生を変えた飯能高校で過ごした日々は、一生の宝物です。そんな思いをさせてあげられる教員を目指し、これからも努力し続けていきたいと思っています。



69回卒
増田 結季
(飯能市在住)

写真との出会い

私が高校で思い出に残っていることは部活です。私は写真部に入っていました。顧問は山下先生と鈴木先生でした。活動日はあまり多くないけれどたまに部員で出かけた

り、学校では体育祭の写真を撮ったり、文化祭で日々撮ってきた写真を展示したり、写真のコンクールに応募したりしました。

私は元々写真を撮るのが好きで

携帯で撮っていたのですが、本格的な写真を撮りたいと思い写真部に入りました。一眼レフを貸してもらいました。休日は一眼レフを持ち帰らせて貰い出かけた先の写真や空の写真を撮っていました。最初は上手く撮れなかったのですが、先生にアドバイスをいただきどんどん上達してきて、それを先生に見せると褒めてくれて色々な感想をくれるので嬉しかったです。

卒業した今はずっと欲しかった自分の一眼レフを持ち、出かける度に一緒に持つて行き色々な写真を撮っています。写真部での活動は今の私の趣味に繋がっています。高校時代はなかなか行けなかった遠出も今は、一人で長崎の軍艦島に行ったり、専門学校の友達と山形の銀山温泉に行ったりしています。その友達も写真を撮るのが好きなので話があつてとても楽しいです。家族と毎年行っている旅行の時もちょっと一人で散歩して絶景を見つけたたりしています。

これからもたくさん写真を撮って、世界の風景もカメラに残したいです。



喜寿の祝

文化祭の思い出



12回卒
原田 久江
(日高市在住)

原稿を軽く引き受けてしまいました。昭和35年卒業の原田久江(旧姓小岩井)と申します。

省りみまずと半世紀以上の月日が過ぎて、私達が学校を巣立つ頃からめまぐるしく変化し向上した便利な社会となりました。しかし反面、心配で悪質な出来事もありました。また人より賢いロボットやインターネットの時代、科学、医学も進歩し続けています。

そんな中で人並みに就職し結婚育児と人生を歩めた事は幸せと感謝し、無事2人で老後を暮らしております。

さて、高校時代の思い出はたくさんありますがどれも貴重で懐かしいものです。5回程のクラスの同窓会の中で、千葉在住の友人達が企画したデイズニールランドのホテルからショーを眺めての会食には2年間担任なされた石田久先生も奥様とお見えになりとても楽しかったです。

また、学校では当時文芸部に所属し「麦」という会誌を発行、手作りの詩集「遠望」は各クラスに配り読んで貰ったりしました。確か生徒会の予算は2万円ほどで大変でした。

1年に1度の文化祭は学校の生徒徒参加の祭典です。他校の生徒が来て「卒業後も文学をやりますか」など生徒間の会話が夢があり真剣でした。本校の文化祭では、明治文壇の研究を発表、中でも漱石に力を入れました。その間、男子部員から演劇をやる事を提案され「坊ちゃん」を舞台で発表する事となりました。手分けして展示と演劇の稽古を夜遅くまでかかり近くの親戚に宿泊したのも若さと情熱故でした。その甲斐あつて大成功で終わる事が出来ました。一つの事に部員まとまって全力で取り組み喜びを分かち合えました。力のない部長故にみんなに支えられました。その年の感想文集で私の「道草を読んで」が表彰され、深く関わった文化祭の二重の喜びでした。あれから人生前向きに來れたのもあの文化祭が原点でした。

最後に陰ながら飯能高校と運動部、文化部の更なる発展をご祈念申し上げます。



会長あいさつ



4 回卒
会長
木川 一男
(飯能市在住)

100周年記念事業 今後の動き

飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会が発足し、4年目を迎えました。年々、実行委員の数が増えており、卒業生の輪が広がってきていると感じております。このことは、卒業生として母校の発展を願い、そして、100周年を多くの卒業生と共に祝いたいという気持ちが生じたことになっていて、表れであり、会長として大変心強く思います。

一人ひとりのさらなるご協力と、同窓会・学校関係者の皆様との組織的な充実を図ってまいります。

実行委員会では、定期総会、役員会、部会を開催しております。平成29年度は、定期総会を開催したほか、役員会を6回、各部会を開催しました。以下、平成29年度における4部会の事業について報告します。はじめに、総務部会は、部会を6回開催し、寄付金の目標額、寄付金の募集に関するところについて検討しました。祝賀会・イベント部会は、部会を3回開催し、祝賀会及びイベントの内容について検討しました。記念誌部会、部会を5回開催し、100周年記念誌の内容について検討するとともに、記念誌編集専門家ヒアリングを行いました。名簿部会は、部会を6回開催したほか、卒業生名簿を作成するに当たり、作成業務を業者に委託するため、作成に係る企画説明会を開催し、複数の業者から企画提案を受け、その内容を審査し、名簿作成業務を委託する業者の選定を行いました。

実行委員会事業報告

《実行委員会顧問、参与、役員紹介》

- 顧問 飯能市長 大久保 勝
- 顧問 埼玉県議会議員 内沼 博史
- 顧問 飯能市議会議員 野田 直人
- 顧問 飯能市議会議員 砂長 恒夫
- 顧問 飯能市議会議員 加藤由 誠明
- 顧問 飯能市議会議員 鳥居 弘
- 顧問 飯能市議会議員 平沼 太
- 顧問 飯能市議会議員 中元 二夫
- 顧問 所沢市議会議員 粕谷 巨
- 顧問 入間市議会議員 小出 弘
- 顧問 日高市議会議員 橋本 幸良
- 顧問 日高市議会議員 石井 正明
- 参与 飯能高校校長 田中 晃一
- 参与 同窓会前会長 木川 一男
- 参与 同窓会前会長 細田 吉春
- 参与 同窓会前会長 町田 知雄
- 参与 同窓会前会長 菱本 龍貴
- 参与 同窓会前会長 本橋 憲一郎
- 参与 同窓会前会長 山影 祥子
- 参与 同窓会前会長 木村 晋治
- 参与 同窓会前会長 間邊 元幸
- 参与 同窓会前会長 澤田 清志
- 参与 同窓会前会長 新井 康雄
- 参与 同窓会前会長 嶋田 義雄
- 参与 同窓会前会長 合田 良雄
- 参与 同窓会前会長 西 長武
- 副会長 中里 敏男
- 副会長 原島 稔久
- 副会長 濱中 正雄
- 副会長 寺田 一夫
- 副会長 高野伊 九子
- 副会長 永田 幸雄
- 副会長 双木 広治
- 副会長 横田 晴雄

平成30年度の全体活動方針・計画

平成30年度の大きな事業として、寄付金の募集を行う予定です。寄付金は、100周年記念事業の資金に当てるため募集するものです。その寄付金は、特別寄付(5万円以上)と一般寄付(1万円以上)とに区分して募集します。寄付金の募集の目標額は、5,000万円とし、その内訳は、特別寄付金2,000万円、一般寄付金3,000万円とします。

①寄付金の使途については、概ね次のとおりです。

- ・ 飯能高校応援事業 2,500万円
- ・ 名簿作成事業 500万円
- ・ 記念誌作成事業 500万円
- ・ 祝賀会・イベント開催事業 500万円
- ・ 寄附募集経費及び事務経費ほか 1,000万円

平成30年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 予算

収入の部				
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
寄付金	10,000,000	0	10,000,000	特別寄付金
譲与金	9,000,000	-	9,000,000	周年事業積立金より
繰越金	472,433	459,535	12,898	前年度繰越金
借入金	-	2,000,000	△2,000,000	廃目
雑収入	7,567	465	7,102	預金利子ほか
合計	19,480,000	2,460,000	17,020,000	

支出の部				
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会議費	580,000	400,000	180,000	総会費、役員会費、部会費
事業費	4,550,000	-	4,550,000	視察研修費、名簿作成委託料等
寄付募集費	220,000	-	220,000	パンフレット作成費等
事務費	70,000	100,000	△30,000	印刷費、郵送料等
印刷費	-	70,000	△70,000	廃目
交通費	-	50,000	△50,000	廃目
雑費	20,000	20,000	0	
返戻金	-	700,000	△700,000	廃目
借入金返済費	1,000,000	0	1,000,000	
予備費	13,040,000	1,120,000	11,920,000	
合計	19,480,000	2,460,000	17,020,000	

- ② 寄付金の募集期間については、概ね次のとおりです。
 - ・ 特別寄付金 平成30年10月から平成32年3月まで
 - ・ 一般寄付金 平成32年7月から平成33年12月まで
- ③ 他校の事例を視察します。
 - ・ 他校の周年事業への取り組み状況を調査するため、2校程度を選考して視察します。
- ④ 名簿部会
 - ・ 卒業生に住所確認の調査票を送付する。
 - ・ 名簿データ整備及び名簿を作成する。
- ⑤ その他
 - ・ 全体及び各部会の事業を推進するため、必要に応じて協議会を開催する。
 - ・ (協議会構成団体) 実行委員会、飯能高校、飯能高校PTA、飯能高校後援会、飯能高校同窓会

平成30年度の部会方針・計画

部会の活動方針・計画については、次のとおりです。

- ① 総務部会
 - ・ 寄附金口座を開設する。
 - ・ 特別寄附案内状等を作成するなど特別寄附金の募集の準備をする。
- ② 祝賀会・イベント部会
 - ・ 祝賀会・イベントの具体的な内容について検討する。
- ③ 記念誌部会
 - ・ 記念誌の作成作業工程を検討する。
 - ・ 記念誌編集資料を収集する。

平成30年度 飯能高等学校同窓会 予算

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月 31日

Table with 5 columns: 科目, 本年度, 前年度, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 会報定期購読収入, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 本年度, 前年度, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 印刷費, 通信費, 会報発行・発送費, 慶弔費, 事務費, 事業費, 研修費, 予備費, 合計.

上記の通り 提案いたします。平成30年6月2日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 会長 本橋 憲一郎

定期購読収支

Table with 6 columns: 年度, 人数, 金額, H28支出, H29支出, 残額. Rows for 平成28年度 and 平成29年度.

平成29年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入済額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 会報定期購読収入, 返還金, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出済額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 印刷費, 通信費, 会報発行・発送費, 慶弔費, 事務費, 事業費, 研修費, 積立金, 予備費, 合計.

収入合計3,085,842円-支出合計1,607,874円=1,477,968円(平成30年度へ繰越し)

【財産目録】

普通預金 1,477,968円
定期預金 9,022,300円
上記の通り 報告いたします。平成30年6月2日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 会長 本橋憲一郎
会計 豊田美子
会計 新井茂

上記監査の結果 正当と認めます。平成30年4月4日

埼玉県立飯能高等学校同窓会 監事 原島 稔久
監事 真野 浩芳
(注：原本には印印があります。)

平成30年度総会報告

22回卒 新井 茂 (飯能市在住)

平成30年6月2日(土)46名参加
若鮎踊る清流名栗川沿い「清河園」において、飯能高校同窓会定期総会が開催されました。

飯能高校からは、岩澤校長先生、榎本教頭先生、嶋田事務部長の方々にご出席いただきまして、都築副会長の司会進行により、本橋会長の挨拶で始まりまして、

続いて、岩澤校長先生から「飯高だより」に掲載されている活躍する運動部(陸上競技部・ホッケー部・弓道部)などや英語検定1級合格者・国公立大学合格者などの紹介がありました。また、部活動の振興による「強い飯能高校」復活プランへの整備基金への協力、支援のお願いがありました。

次に本橋会長が議長を務め、平成29年度事業報告及び決算の承認、30年度事業計画及び予算の承認2件(周年事業積立金の帰属と会報誌定期購読交付金等)が承認されました。これは、創立100周年記念事業(2022年

度開催予定)に関するもので、本同窓会と創立100周年記念事業実行委員会との協定の締結を承認するものです。また、創立100周年記念事業事務局から4部会(総務、祝賀会・イベント、記念誌、名簿)を設け、活動していることなどの報告がありました。

総会終了後は、佐野幹事の司会により和やかに懇親会が進められました。第1回卒から64回卒までの出席者が一堂に会して様々な会話で賑やかに楽しいひと時を過ごすことができました。また、喜寿を迎えた(12回卒の5名)に本橋会長から記念品を贈呈してお祝いしました。

卒業生は、今年3月に220名が卒業し、全体では2万3300名余りとなります。これから多くの卒業生に総会に参加していただき親睦を深めて欲しいと思います。



この同窓会の会報「松楓」をご覧になっている皆様は、同窓会の活動については、よくご存知のことと思います。そのような皆様には、是非、同窓会の会員でありながら、同窓会についてほとんど知らない多くの会員の皆様に、同窓会について、伝えていただきたいと思えます。

毎年卒業する時に、各クラスから2名の理事と学年で1名の常任理事が選出されます。卒業して20年も経ちますと、自分が理事に選出されたことすら忘れてしまうこともあるようです。理事の皆さんは、当時のことをしっかりと思い出して下さい。そして、所属していた学年・クラスのパイプ役として、クラス会等の機会を捉えて、同窓会の活動を拡散して下さい。

同窓会、半端ないって

会の活動をしています。役員会の原動力は、なんとと言っても、同窓会という組織を継続させるといふ使命感では無いでしょうか。だからと言って、堅苦しい雰囲気は少しもありません。活動の基

本は、私生活優先です。から、用事があれば、そちらが優先です。同窓会の目的は、会員相互の親睦と飯能高校の発展に寄与するものです。

会員のための親睦活動としては、総会の後の懇親会、日帰り研修旅行、そして、この会報「松楓」があります。同窓会の活動で一番ボリュームがあるのが、「松楓」の編集・発行です。何を特集記事にするか、誰に原稿を依頼するか、話し合いで決めていきます。原稿を

依頼された方が、必ずしも快く引き受けてくれるとは限りません。苦勞の多い仕事ですが、一方では大きな達成感もあります。

飯能高校の発展に寄与する活動としては、学校応援事業としてミニチュア制服や卒業証書ホルダーを作って学校に寄付しています。また、チアダンス部のように顕著な活躍を示した部活動の支援もしています。

2月には、母校を訪ねて、卒業生に同窓会について説明し、入会を呼びかけています。飯能高校は、4年後に100周年を迎えます。100周年の記念事業については、実行委員会が実施しますが、同窓会も100周年をバックアップしています。同窓会の活動が、ますます重要になっていきます。会員の皆様におかれましても、できる範囲で、同窓会の活動

にご協力をお願いいたします。 T・T



平成30年度 研修会参加者募集

同窓会研修会を、次のとおり計画しております。ふるってご参加下さい。

日時 平成30年10月18日(木)

午前7時55分飯能駅(南口)集合

会費 6500円(当日集金)

訪問先 横浜方面

行程 飯能駅(南口)8時発・三溪園・中華街・赤レンガ倉庫・飯能駅(南口)18時着(予定)

※天候や交通事情等により行程又は時間の変更になる場合がございます。会員の皆様におかれましても、できる範囲で、同窓会の活動

※お誘い合わせのうえ、電話又はメールで9月末日までにお申込下さい。

申込先

市川 光男
〒357-0031
飯能市山手町25-13
電話 042-974-0365
携帯 09044530845
メール icchy@ozzio.jp

平成30年度 同窓会役員一覧

顧問	岩澤 正明 (学校長)
	田中 晃一 (16回卒)
参与	町田多加次 (4回卒)
	高野伊九子 (5回卒)
会長	本橋憲一郎 (20回卒)
副会長	大野ナミ子 (12回卒)
	澤田 清志 (23回卒)
	都築 敏夫 (24回卒)
	新野代里子 (28回卒)
幹事	佐野 勇 (34回卒)
	豊田 美子 (35回卒)
会計	新井 茂 (22回卒)
	若林 淳子 (30回卒)
監事	原島 稔久 (17回卒)
	鯨井 暢 (28回卒)
会報発行委員	谷ヶ崎艶子 (24回卒)
	市川 光男 (24回卒)
	細田 宏子 (28回卒)
	嶋田 栄子 (28回卒)
校内理事	大野 賢一 (33回卒)
	小澤 眞帆 (64回卒)

次回 同窓会総会
平成31年6月1日(土)

平成30年度学校の近況について



教頭
榎本 龍治

今年は3人の初任者を迎え、飯能高校は97年目を迎えました。生徒は文武両道、力を発揮しています。ホッケー部は関東大会で初優勝し、11年連続インターハイ出場を決めました。弓道部は関東大会に男子団体、女子個人が出場し、女子個人でインターハイ出場を決めました。陸上競技部は、女子の三段跳で北関東大会6位と好成績を残しました。たくさんの方の応援、ありがとうございました。

高崎経済大学、私立大学では早稲田大学・明治大学に合格。難関大学に一般受検で合格者が出るようになりました。他にも多くの生徒が自分の進路先をつかみ取りました。就職希望者は全員が就職先を決めました。進路指導部と学年が一体となった指導に励んだ生徒の努力のたまものでしょう。

今後、生徒と信頼関係を築き、地域の方々そして同窓会の皆様のお借りしながら飯能高校を盛り上げていきたいと思えます。引き続き本校の発展に、ますますのご支援をいただければ幸いです。

◆主な学校行事

4月 入学式(9日)
今年度は、241名の新生を迎えました。

遠足(27日)

今年も天候に恵まれ、遠足日和となりました。1年生は横瀬町の小松沢レジャー農園でバーベキュー体験。2年生は羽田空港に集合、都内を見学。3年生はデイズニースーで仲間の絆を深めました。

5月 PTA総会(19日)

各種委員会の後、総会が視聴



進路については、国立大学の埼玉大学・

6月 体育祭(8日)

覚室で行われました。手作りのクラス旗のもと団結を高め、熱戦を繰り広げました。総合優勝は2年3組でした。



◆今後の主な学校行事

9月9日(日)に文化祭が一般公開されます。

11月22日(木)

「ウォーク21」(強歩大会)正丸駅〜刈場坂峠〜高山不動〜吾野駅までの奥武蔵の緑の中を21kmを歩きます。お時間がありましたら、ぜひ、後輩の活動の応援にお出でかけください。

◆部活動の主な記録

〔6月中旬までの主な活動状況〕

ホッケー部

関東大会優勝、インターハイ(岐阜)出場決定

弓道部

関東県予選男子団体2位、女子団体6位、男子個人4位。インターハイ予選女子個人3位。インターハイ(静岡)女子個人出場決定

陸上部

県大会

女子三段跳3位、他多数出場

北関東大会 女子三段跳6位。

卓球部

県大会

関東大会県予選12年連続出場。

インターハイ県予選12年連続出場。

男子団体ベスト32

新人大会男子団体・シングル・ダブルス出場

チアダンス部

J D C A全日本チアダンス選手権ジャズ部門2位。

U S A ナショナルズ全日本チアリーディング・ダンス選手権

高校生ジャズ部門1位

演劇部

春季演劇発表会

作品賞2位・俳優賞3位

第6回定期演奏会合同開催(3月)

吹奏楽部

吹奏楽コンクールCの部 出場

県科学教育振興展覧会地区展奨励賞

他にも

多くの部活動や授業

で、地域の小学校

等との交流を図っています。



平成30年度人事異動

教諭 (退職)	島崎 浩	(豊岡高校)
吉野 善行	(所沢北高校)	
鯨井 暢	(所沢北高校)	
教諭 (転出)	中島 伸広	(豊岡高校)
徳江 大介	(所沢北高校)	
鈴木紗希子	(鶴ヶ島清風高校)	
河田 雅弘	(飯能南高校)	
大野 一平	(豊岡高校)	
平林 修次	(川越総合高校)	
河野 恵子	(所沢商業高校)	
森田 敏彦	(飯能高校)	
岩沢 浩二	(飯能高校)	
畑中 一郎	(川越女子高校)	
山下 登	(飯能南高校)	
鷺田 尚子	(所沢西高校)	
業務主事 後藤 礼介	(浦和高校)	
佐藤さだ子	(川越西高校)	
教諭 (転入)	山田紗恵子	(浦和高校)
渡邊奈緒子	(川越西高校)	
小澤 真帆	(川越西高校)	
諸星 銀河	(羽生第一高校)	
尾又 香	(大宮北高校)	
加藤 和俊	(坂戸高校)	
小林 康真	(戸田翔陽高校)	
庄子 和貴	(南陵高校)	
川田 勇作	(本校教諭)	
高野 好晴	(本校教諭)	
吉野 善行	(本校教諭)	
鯨井 暢	(芸術総合高校)	
宇田 敬子	(本校定時制)	
軽部 敬子	(本校教諭)	
岩沢 浩二	(本校教諭)	
塩川 忠	(桶川高校)	
松尾 好幸	(日高特別支援)	
主任専門員 山下 道夫	(塙保二一学園)	
業務主事 田中 栄一	(入間わかき特支)	

母校だより

サッカー部

顧問 押野 宏典

飯能高校サッカー部です。私たちは3年生7名、2年生12名、1年生13名、マネージャー2名、顧問2名の計36名で活動しています。「誰からも応援される集団に！」を心がけ、日々の私生活から制服やユニフォームをしっかりと



着こなし、ルールやマナーを守り、何事にも一生懸命取り組んでいます。

飯能高校は、100年近く続く伝統校です。伝統校復活にむけて、サッカー部もしっかりと「飯高スタイル」を築き上げていきたいと思っています。まずは県大会や選手権トーナメント進出常連校に、いずれは埼玉県ベスト4を目指したいと思っています。

私は飯能高校に赴任して2年目になります。1年目では、一人ひとりが日々の練習を休まずに、一生懸命取り組み、頑張れる集団になることができました。今年度は闘える集団に、そして、勝てる集団になれるように励んでいきます。昨年度の公式戦はいずれもシード校に敗れてしまいました。今年はシード校に勝てるように頑張ります。また、飯能高校はホッケー部、陸上部ともにインターハイに出場しています。ともに刺激を貰える環境に感謝しています。そして、試合前日にはホッケー、陸上、

サッカー部の部員全員で校歌を歌うなど、運動部で学校を盛り上げていきたいと思っています。

今後とも飯能高校サッカー部を温かく見守っていただけたらと思います。よろしくお願い致します！

吹奏楽部

顧問 田代 朋子

私が飯能高校に来たとき、吹奏楽部は部員4人しかおらず、正顧問もない状態でした。

た。ほぼゼロからのスタートに希望と不安で胸がいっぱいだったことを今も覚えています。部の立て直しを主に、部員集め、コンクール出場、定期演奏会の計画など、とても大変な一年でした。ですが、飯能高校へ赴任して一年目で、埼玉県吹奏楽コンクールCの部（20人以下）で、1位の優秀賞を頂くことができました。また、しばらくの間途絶えていた定期演奏会を、箏曲部と合同開催ということで復活させました。昨年度で6回目となり、今は音楽部も加わり、飯能高校音楽系の部活の発表の重要な場となりました。昔のような活気がある飯能高校吹奏楽部を復活させようと、努力している日々です。

現在、部員はなかなか増えず少人数ですが、地道に活動をしていきます。毎年、西部支部吹奏楽研究発表会、野球応援、吹奏楽コンクール、西部地区高校音楽祭、アンサンブルコンテスト、飯能市中学校音楽祭合同演奏、定期演奏会

などに出演しています。聴いている人にどう音楽を届けるかを課題に、表現の仕方、曲の流れなど練習に励んでいます。少人数では、大体一つのパートに1人なので、どのパートもソロのような状態です。大編成のバンドに負けない、大きな音で心を打つ演奏を目指に突き進んでいきます。飯能高校吹奏楽部の奏でる音が心に響くよう、生徒と共に一杯頑張っていく所存です。



「すみっコ図書館」へようこそ！

主任司書 湯川 康宏

特別教室棟最上階、すなわち飯能高校の隅にある図書館は「すみっコ図書館」という愛称で生徒に親しまれています。黄・緑・青・ピンク・黒の5色に色分けされた館内には、一風変わったコーナーがいろいろあります。夏はテーブル、冬はこたつになる「すみっコタツ」、ハンモックならぬ「飯モック」、パズルやゲームのコーナー、昼休みにお弁当が食べられる「まんなC a f e」などなど、『本を読むところ』という旧来の図書館のイメージとはかけ離れた仕掛けがたくさんあります。マンガやぬいぐるみも沢山あって、『勉強をするところ』という図書館のイメージともずいぶん違います。

館内には運勢が占える神社や写真撮影スポットも用意されていて、「本当に図書館なの？」と思われるかもしれません。でも、図書館は学年・男女を問わず生徒がいつでも自由に入れる場所なのです。そこで、本を読むことや勉強する子だけではなく、すべての生徒がいつでも気軽に来てくれる空間を目指しています。そのためには、生徒が何を求めているのか知らなければなりませんから、図書館には生徒の声を聴き、図書館づくりに反映する仕組みが沢山あります。ビブリオバトル^{*1}やリレー小説^{*2}など、生徒の発案で始めた『図書館っばい』イベントも定着してきました。

こんな「すみっコ図書館」ですが、単なる『ゆる～い図書館』かということ、意外に硬派な一面もあります。青色のエリアには進学・就職関連資料コーナーを配置し、学習者優先席も設置されています。定期考査一週間前から考査終了までは学習者以外の入館を禁じて開館時間も延長します。写真はホッケー部の生徒が勉強している様子です。

最近では、県内外から見学に来て下さる方もあり、学校説明会で図書館の見学をして入学を決めた生徒もいます。卒業生や保護者の方をはじめ、地域の方の見学もお受けしていますので、どうぞお気軽にお越しください。



※1. 参加者が面白いと思った本を紹介し、ディスカッション後に投票で「チャンプ本（最優秀本）」を決める

※2. 複数の執筆者で物語を綴る小説

同窓会理事名簿追加

平成30年3月卒業（高校70回）された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

- 1組 近藤 友杜 橋本 朱里
- 2組 漆原 壱 竹中 彩莉
- 3組 岡戸 颯 本田 明弘
- 4組 高橋 成弥 牟田虎太郎
- 5組 浅海 真優 田島 恵太
- 6組 大野 佳樹 山形 拓真
- 学年代表 岡戸 颯

「松楓」定期購読について

飯能高校は、2022年に創立100周年を迎えます。今後、記念事業の準備を進めるなかで、同窓会の活動が一層活発になってくると思っています。創立100周年を盛り上げる施策の一環として、卒業した同窓生の様子や学校の近況を、なるべく多くの会員の方々に知っていただきたく、現在「松楓」の發送対象者の拡大をしております。

従来、一定の会員に「松楓」を發送しておりましたが、「松楓」の發送対象者の拡大に伴い、発行や發送の経費がかさんできております。これらの経費は、同窓会の会費で賄っております。

そこで、会員の皆様には、「松楓」の定期購読をお願い致します。特に、常任理事、理事の方々には、定期購読の趣旨をご理解のうえ、率先してお申し込み頂きたいと思っております。

定期購読は、1,000円で5年間、「松楓」を發送致します。ご希望の方は、副会長都築（☎042・972・2257）までご連絡ください。

編集後記

今回42号の編集に向けて、お忙しい中、原稿・写真等をお寄せ下さった方々に心より御礼申し上げます。

編集会議で原稿を読ませていただくのと、懐かしい高校生活が蘇り、楽しい時間を過ごすことができます。先輩方の貴重なお話や後輩の活躍に力をいただき、微力ながら同窓会のお役に立ちたいと思います。 H・H

〔編集委員〕（◎編集委員長）

- 本橋憲一郎 ◎大野ナミ子
- 澤田 清志 都築 敏夫
- 新野代里子 新井 茂
- 若林 淳子 谷ヶ崎艶子
- 市川 光男 細田 宏子
- 嶋田 栄子 佐野 勇
- 豊田 美子

会報「松楓」第42号

平成30年9月1日

編集・発行 同窓会

発行責任者 会長 本橋憲一郎

印刷 (有)山村印刷

発行所 埼玉県飯能市

埼玉県立飯能高等学校内

飯能高等学校同窓会